



5 環境にやさしい電気自動車がわが町へ！

12月10日（火）、道の駅くいの松原おおさきにおいて、電気自動車（EV）『リーフ』1台と電力供給装置『LEAF to Home』1基が鹿児島日産自動車（岩島達郎社長）より寄贈されました。

道の駅が災害時に避難所や復旧支援活動の拠点となっていることから、日産自動車が社会貢献活動の一環として、道の駅がある各都道府県の一つの自治体に贈呈しているものです。

岩島社長は、「電気自動車は環境にやさしいだけではなく、蓄電機能で環境負荷の軽減にも役立つので、ごみのリサイクル率日本一の大崎町とともに、環境に優しい地域づくりに取り組んでいきたい。」と話され、東町長は、「電気自動車を活用し、クリーンな環境づくりに貢献するとともに、環境保全および環境負荷の少ない地域づくりをPRしていきたい。」と感謝の言葉を述べました。

4 地域でつくる世代間交流！

12月14日（土）、町東公民館、町西公民館、神領町公民館の子ども会合同で、イルミネーションの飾り付けや点灯式などが行われました。

これは、昨年度自治公民館やNPOなどのさまざまな団体が地域の課題解決を図るための事業として町が助成を行う『提案公募型事業』で整備したイルミネーション等を活用して行われたもので、今回で2回目となりました。

イルミネーションは、地域内の病院跡地に設置され、保護者と一緒に子どもたちも飾り付けを行い、また、餅つきやぜんざいづくりなどの体験活動のほか、子どもたちを喜ばせようと、『町東土曜クラブ』によるアトラクションも行われ、世代間の交流が深められました。

